# 平成29年度行政評価 事務事業評価シート（平成28年度実績）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事務事業コード | 030101010 | 予算コード | 01014500 |
| 事務事業名 | ふれあいのまちづくり事業 | | |
| 担当課 | 障害福祉総務課 | | |
| 根拠法令等 | 市単独事業<br>■要綱・要領<br>泉佐野市ふれあいのまちづくり事業費補助金交付要綱 | | |
| 事務事業類型 | 運営事業 | | |
| 実施手法 | 補助・負担 | | |
| 対象 | | | |
| 不特定の市民 | | 対象数 | |
| 支援を必要とする人 | | | |
| 事業の内容 | | | |
| 小学校区（長南小校区は2ヶ所）ごとに地区福祉委員会を設置し、グループ支援活動及び個別支援活動をボランティアの協力を得て実施、事務局は市社協。市はこの活動を補助している。なお、当該事業は大阪府地域福祉・子育て支援交付金事業の対象となっている。 | | | |
| 事業の目的 | | | |
| ボランティアや各種支援団体を育成し、地域が福祉の推進に取組むことにより、安心して暮らせる社会を自らが形成していく。 | | | |

| 従事人員（人） | |
|---|---|
| 正規職員数 | 0.12 |
| 嘱託職員数 | 0 |
| 臨時職員数 | 0 |
| 歳出（千円） | |
| 人件費総額 | 1,026 |

| 投入コスト（千円） | |
|---|---|
| 国庫支出金 | 0 |
| 府支出金 | 3,994 |
| 市債 | 0 |
| その他 | 7,099 |
| 一般財源 | 1,027 |
| 減価償却費 | 0 |
| 事業費 | 11,094 |

| | |
|---|---|
| フルコスト（千円） | 12,120 |
| 市民1人当りコスト（円） | 120 |

| 活動指標 | H28実績 |
|---|---|
| グループ支援活動 | 2,130.0 |
| 対象ネット数 | 1,992.0 |
| 協力員（ボランティア）登録人数 | 1,545.0 |
| | |
| | |

| 成果指標 | H28実績 |
|---|---|
| グループ支援活動参加延人数 | 41,312.0 |
| 個別支援活動実施延人数 | 89,494.0 |
| 協力員活動人数 | 1,545.0 |
| 各校区総会 | 14.0 |
| | |

| コスト指標 | H28実績 |
|---|---|
| 対象ネット数１人当たり経費 | 6,084.0 |
| | |
| | |
| | |
| | |

| 評価 | 評価点 |
|---|---|
| 有効性 | A |
| 効率性 | A |
| 妥当性 | A |
| 受益者負担 | 該当なし |
| 緊急性 | A |
| 公的関与 | B |
| 実施主体・委託化 | A |
| 他の事務事業との関連 | A |
| 透明性 | B |
| 財政健全化計画 | 該当なし |
| 財政健全化の取組 | 該当なし |
| 改革改善プラン達成度 | 該当なし |

| 一次評価 | B |
|---|---|
| 地域住民自身が福祉のまちづくりを推進する気概を醸成していくため、社会福祉協議会を始めとした地域福祉活動を実施する団体を支援し、市全域において助け合い、支え合う地域の確立を目指している。地域での要援護者の増加や課題の多様化などから、地域で支え合う共助の仕組みの基盤は重要となってくることから、今後支援は拡充していくことが望ましいが、財政状況等を勘案し、現状維持を確保する。 | |

**事務事業実施内容**

一人暮らし高齢者やひとり親家庭、引きこもり等社会から孤立する人の増加が問題視されているが、地域の中で支援が必要な人の把握を積極的に行い、交流活動も活発に実施した。活動指標では、ネット数は増加しており、効果的な対象者の把握が出来ている。それに伴い個別支援訪問回数、グループ支援実施回数共に大きく伸びている。地域で工夫して様々な手法により実施してきた結果であり、効果的な地域福祉の推進を図ることができた。